

報道各位

(報道発表資料)
令和4年12月23日
北九州市保健福祉局感染症医療政策課
(担当:河崎、梅田)
電話:093-582-2430

つつが虫病の発生について

市内において、つつが虫病(4類感染症)の発生届がありましたので、北九州市感染症公表要領に基づきお知らせいたします。

1 概要 令和4年10月28日(金)、市内 B 医療機関(小倉北区)から北九州市保健所につつが虫病が疑われる患者について連絡があり、宮崎県衛生環境研究所で検査を実施したところ、令和4年12月22日(木)、感染が確認された。

2 患者情報 長崎県在住、38歳、男性

3 経過 10月23日(日) 発熱(37℃前半)あり。
10月24日(月) 発熱(38~40℃)あり。
10月27日(木) 発熱が続いたため、A 医療機関受診。
ダニに刺された痕、腹部に発疹あり。
B 医療機関を紹介され、受診。
10月30日(日) 症状消失。
12月22日(木) 病理組織(皮膚)から、病原体遺伝子を検出。
10/27、11/10 の血液検査(ペア血清)の結果、
つつが虫病と診断。

4 現在の状況 症状無し。

5 感染原因 不明。

6 行政対応 患者に対する健康調査の実施。

7 つつが虫病の北九州市への届出状況(単位:人)

(令和4年12月23日現在)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生届出数 (単位:人)	0	1	0	1	0	1 (本件を含む)

【その他】

- 患者の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内にさせていただきます。ご理解の上、特段のご配慮をお願いいたします。
- 本市においては、別添「《つつが虫病について》の予防のポイント」について市民の皆様と呼びかけています。
報道各位におかれても、別添「《つつが虫病について》の予防のポイント」の内容の周知にご協力いただきますようお願いいたします。

【つつが虫病について】 別添参照

《つつが虫病について》

➤ つつが虫病とは

つつが虫病はつつが虫病リケッチア(*Orientia tsutsugamushi*)を保有するツツガムシ(ダニの一種)に刺されて感染する病気です。

発生時期は春～初夏及び晩秋～冬ですが、媒介ツツガムシの生息地域によって異なります。

➤ 症状

5～14日間の潜伏期間を経て、典型的な症例では39℃以上の高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的な刺し口(ツツガムシに刺された場所にできるかさぶた)がみられます。その後数日で体幹部を中心に発疹がみられるようになります。全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症します。有効な抗菌薬による治療が適切に行われると劇的に改善します。軽い場合は風邪程度の症状ですが、高齢者などでは呼吸困難、意識障害など重症化し、死亡することがあります。

➤ 感染経路

つつが虫病リケッチア(*Orientia tsutsugamushi*)を保有するツツガムシに刺されることによって感染します。

➤ 予防のポイント

ツツガムシが衣類や身体についているかもしれないため、ツツガムシに刺される前に取り除くことが重要です。

- ・山林、草地、川原などに入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくしましょう。
- ・屋外活動後は、速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流しましょう。

【市民の皆さまへ】

山林、畑や河川敷に行った後に、頭痛やだるさが強く、高熱が続いたり、発疹が出た場合には、つつが虫病の可能性があるので、早めに医療機関を受診してください。